

(135号) 平成28年8月発行  
 発行 堺愛育会 鈴木 之人  
 編集 堺愛育会  
 〒591-8033  
 堺市北区百舌鳥西之町1-124  
 あすなる授産所 TEL 072-259-8438  
 FAX 072-260-4120

# 陽の丘

「知的障がい者に暖かい太陽の光をあてるようにしなければならぬ。その人達の住むところは、集まるところは、陽光のサンサンとふりそそぐ、陽のあたる丘でなければならぬ。」  
 その意味で「陽の丘」と名づけた。

深瀬 孝一

## 第四十五回 堺愛育会総会

平成二十八年五月二十三日、堺市立百舌鳥支援学校 多目的室において、第四十五回総会が開催されました。平成二十七年年度 事業報告、会計報告、平成二十八年年度事業計画、予算案が承認されました。又、役員の変更もあり、新体制でスタートしました。

第二部は、堺市立百舌鳥支援学校 元校長の坂上淳司氏より、「もずの歴史あれこれ」というテーマで、百舌鳥支援学校、あすなる授産所の昭和三十七年から現在に至るまでの歴史を講演していただきました。昭和三十七年当時の新聞の切り抜きを見ながら、当時のエピソード等も楽しく話して下さいました。

最後は、あすなる授産所の自立訓練のメンバーとスタッフ、お母さんたちによるミニコンサートがあり、「ひまわりの約束」「上を向いて歩こう」を会場の参加者全員で大合唱しました。

百舌鳥支援学校



あすなる授産所



## NPO法人 百舌鳥あすなる会

理事長 渡辺 真由美

NPO法人 百舌鳥あすなる会の松尾前理事長の任期満了による退任に伴い、後任の理事長に就任いたしました渡辺 真由美でございます。

あすなる授産所ができて今年で四十八年になります。最初は百舌鳥支援学校の卒業生の働く所ということで、親が中心になり学校、行政、企業、地域が力を合わせて作業所を作りました。その後、社会や制度、価値観など、様々なものが変化してきましたが、その中で変わらず受け継がれてきているもの、例えば、「障害者のために」「共に 皆で力をあわせて」というようなことには変わりはありません。私も、それらを受け継ぎ、次へと引き継いでいきます。

NPO法人 百舌鳥あすなる会の理事長として、はなはだ微力ではございますが、全力で、この伝統ある百舌鳥あすなる会、あすなる授産所を守り、発展に尽くす所存でございます。よろしくお願い致します。



## 第45回堺愛育会 総会に寄せて 堺愛育会 会長 鈴木 之人

堺愛育会は昭和47年5月20日に発足しました。その経緯は、「社会福祉と誰もが口にするし、また福祉国家とさげんではいるが、現実に障害者の生活にそれほどの変化は見られない。障害者をもった家族の心のやすらぎは、いつになったらくるのだろうか？」こうした現状を黙視することができず、堺市立百舌鳥支援学校関係者が集まって（当時、百舌鳥養護学校）障害者特に知的障害者の問題を社会の連帯性によって解決しようと志し、心ある人に問いかけ近隣の人々に呼びかけて障害者をもつ親以外の者が主となって堺愛育会が結成されました。

堺愛育会の目的は、①障害者の自立への協力と援助である。自立することによって生きる喜びを感じ、幸福生活を送ることができる。その為の協力と援助である。②公立授産所設置促進ということで、自立するためには卒業後の職業訓練、授産のための施設が必要となってくる。現在、堺市内には障害者のための公立の職業訓練、授産所が一つもない。ただ1カ所、百舌鳥支援学校の敷地の中に保護者によって始められた、あすなる授産所があるだけである。速やかに公立の施設が設置されるよう運動を起こすとともに、あすなる授産所への援助をすることである。

上記は「陽の丘」第1号に掲載された、あすなる授産所初代所長の深瀬孝一先生の文章です。これが堺愛育会の原点であり、その理念を受け継いでまいります。

堺愛育会 総会の様子



# ゲストのコーナー

### 愛育会の今昔

或る会社の社員が、障がい者が同僚として働いているのを見て、障がい者を解雇するように社長に求めたそうです。その時社長は、君たちはどこの会社でも雇用してくれるかもしれないが、この人たちには雇用機会が少ない。だから君たちよりこの人たちの雇用を守るのが私の務めと信じている。と言ったそうだと先輩から教えてもらいました。その社長が、愛育会の初代会長です。

あすなる授産所が開始されたのが昭和43年当時としては、日本国内でも先駆的な取り組みでした。そのバックアップ組織として愛育会が結成されました。長い歴史の間、時代の波に翻弄された時もありますが、「温故知新」初代からの伝統と基本的な考え方がぶれないよう、将来に向かって継承していきたいと願っています。 [南條 温実]

中学2年生の時からあすなる授産所の放課後等デイサービスを利用していました。野球をして遊んだり、行事、遠足に参加して楽しく過ごしていました。

今年の3月に高校を卒業し、4月から自立訓練に通っています。以前からしていた木管作業は数多くできるようになり、新しく始めたさをり織りはおもしろくて、だんだん上手になってきました。ウォーキングや書道、調理にも積極的に参加して充実した毎日を送っています。 [自立訓練 佐々木 孝明]

百舌鳥支援学校（小・中学部）と堺支援学校（高等部）在学中に4年間、今年3月迄、児童デイでお世話になっていました。デイではスタッフさんがいつも温かく、息子は[第2の我が家]のように楽しんで利用させて頂き、普段の利用以外にもパーベキューやクリスマス会、親子遠足、キャンプ等のイベントに親子で参加し、たくさんの経験と交流をさせていただきました。

息子は今春より「こだま」という作業所に通い、私はお世話になった感謝の気持ちで、微力ながら協力できたらと堺愛育会の会計を担当させて頂いています。

今後もあすなる授産所の発展を心より応援していきたいと思っています。 [保護者 米田 尚子]

### 48年の歴史に思う

あすなる授産所が開設されたのは昭和43年、1968年で、今から48年前のこと。日本で初めての障害者就労施設である。それより少し遅れて名古屋の「ゆたか共同作業所」ができあがった。あすなる授産所は、堺市のバックアップも受けてきたため、民間で独立した授産所としてゆたか共同作業所が一番古いと言われることが多いが、設立順としては、あすなる授産所が一番古い。

来年度、いよいよ百舌鳥支援学校の地を離れて、完全に独立したかたちでの授産所として運営されることになるが、これまで積み重ねてきた歴史を大切に、新たな門出を祝福したい。 [田村 仁彦]

### 編集後記

梅雨も明け、本格的な夏を迎えました。堺愛育会の第45回総会を終え、平成28年度は新体制でスタート致しました。陽の丘の紙面も倍増し、あすなる授産所の様子や愛育会の活動の様子など、より詳しく充実したものになりました。今後もより良い内容にしていきたいと思っております。

さて、堺愛育会の活動にご賛同、ご協力していただける方の入会を募っております。会費は1口1000円です。よろしくお願致します。

振り込み先：ゆうちょ銀行 00910-7-310506  
 堺愛育会 (オレンジ色の振り込み用紙です)





### 春のフラガまつりに参加

平成28年4月16日(土)に堺市立健康福祉プラザにて、「春のフラガまつり」が開催されました。その際にあすなる授産所でさをり織り体験コーナーをさせていただきました。

当日は1階ロビーでさをり織りのデモンストレーションと展示、4階では5台の機械でさをり織りの体験とさをり製品の販売をしました。利用者さん9名、職員11名、ボランティアさん6名の総勢26名で参加しました。デモンストレーションは利用者さんが交代で行い、販売の係もするなど、自立訓練メンバー大活躍のイベントでした。さをり織り体験者35名、さをり製品の販売22個(31000円)の売り上げと大成功でした。また、竹山堺市長にもあすなる授産所のさをりを見ていただくことができ、大きな励みとなりました。



### 授産所レポート:自立訓練

あすなる授産所 自立訓練の今年度、最初のイベントは遠足で、5月28日に大阪市立科学館に行きました。大阪市立科学館には大きなプラネタリウムがあり、皆でこの季節の星を見ました。その後は展示を見学しましたが、1日では回りきれないくらいの数で、もう少し時間があつたら良かったと思いました。

天気は悪かったものの楽しい1日を過ごすことができました。



### タングラム検定 合格目指して

放課後等デイサービスでは現在、知育玩具に力を入れて取り組んでいます。「さんかくタングラム」「大人から子供まで楽しめるタングラム」等、様々なタングラムで頭のトレーニングと、できた時の達成感を感じることができます。あすなる授産所では、「タングラム検定」という事を独自でつくり、検定に合格すると昇級することができます。子供達は昇級を目標に日々、タングラムに取り組んでいます。今後もいろいろと子供達が楽しくチャレンジできるような事をしていきたいです。



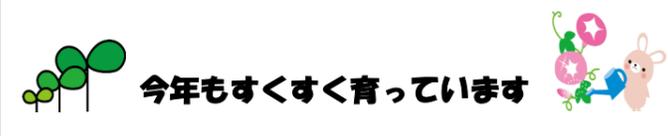
### 授産所レポート:児童デイ

夏休みです。暑い日が続いていますが、子供達は変わらずに元気な毎日を送っています。

3月で高校生が卒業し、現在は小学生が多く昨年度よりもにぎやかな放課後等デイサービスになっています。

さて、子供達は夏休みで朝からデイサービスを利用します。今年も恒例の「夏のビニルプール」の出番です。事故なく、ケガなく楽しみたいと思います。

人数が少し減りましたが、今年の夏もパワフルに過ごしたいと思います。



### 今年もすくすく育っています

あすなる授産所の裏のスペースを利用して、プラントナーで野菜を育てています。苗を買ってきて、植え付けから水やり、収穫まで、利用者さんが行っています。

トマト、きゅうり、ナス、ピーマン、さつまいもなど多くさんの種類の野菜を育て、収穫して水曜日の昼食作りの際に使って、皆でいただいています。



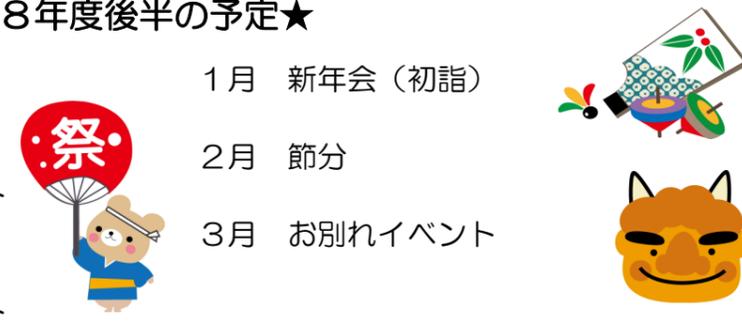
### 健康は財産 毎日歩いています

あすなる授産所の自立訓練のメンバーは、毎日午前中にウォーキングしています。月曜日~木曜日は30分~1時間、金曜日はロングウォーキングで約2時間歩きます。午前中に太陽を浴びて散歩することはセロトニンという精神安定作用のある脳内物質やメラトニンという睡眠物質が分泌され、イライラしなくなったり、夜よく眠れるそうです。

午前中は毎日歩いていますので、運動不足の方は一緒に散歩しませんか？



★平成28年度後半の予定★

 	<p>7月 七夕制作 8月 夏祭り 9月 自立訓練一泊旅行 10月 ハロウィンイベント 11月 児童デイ遠足 きらっと書道展 12月 クリスマスイベント</p>	<p>1月 新年会(初詣) 2月 節分 3月 お別れイベント</p>	
--	--	--	---

**あすなる授産所スタッフ紹介**

所長  
渡辺真由美

運転手  
山本 哲也  
鉛 恵美子

自立訓練  
スタッフ  
高森 奈津子  
豊倉 美栄子  
大仲 彩佳





放課後等デイ  
スタッフ

西村 礼央  
稲垣 佐希子  
古賀 量太  
西田 由里子  
小倉 百合子  
山本 広美